

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 6 月定例会

2 開 催 日 時

平成 29 年 6 月 14 日（水）8 時 30 分開会 9 時 33 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 南別館 2 階会議室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

白水教育次長、江寄教育総務課長、平川学校教育課長、
佐藤生涯学習課長兼図書館長、木村学校教育課参事兼課長補佐、
中島学校教育課参事兼教育相談係長、山津生涯学習課参事、
豊増学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、
原教育総務課総務係長、有馬学校教育課学校教育係長、八尋生涯学習課長補佐
久山生涯学習課文化財係長、栗山生涯学習課図書係長

7 傍 聴

2 人

8 経 過 報 告

5 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

5 月定例会の議事録承認

【承認】

10 議 事 及 び 審 議 結 果

議案第 10 号 鳥栖市育英資金貸付基金奨学生の選考について

【承認】

議案第 11 号 鳥栖市社会教育委員の委嘱について

【承認】

11 協 議 報 告 事 項

(1) 平成 28 年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価報告書（自己評価案等）について

(2) 就学援助受給者へのアンケート結果について

(3) 鳥栖市通学区域審議会について

12 今 後 の 予 定 等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次 回 会 議 予 定

教育委員会 7 月定例会

平成 29 年 7 月 12 日（水）午前 8 時 30 分から

鳥栖市教育委員会 6 月定例会議事録

●天野教育長

皆さんおはようございます。6月議会の真っ只中ということで、こういう8時半からのスタートになりました。今日は、10時から総務文教常任委員会がありますが、会期の日程の決定等で、顔を出したら一旦、退席する予定です。教育委員会事務局の総務文教常任委員会での協議は昼からになると思われまますので、定例教育委員会が途中で中断しても、再度協議できますから、慌てることもございませんし、いっぱい、ご意見もいただければと思っておりますので、よろしく願います。

梅雨に入ったものの、空梅雨ということで農家の方も心配もされてあると思います。23日が中体連の水泳大会ということで、水泳の方は、非常に充実した指導ができていたという状況のようでございます。それから6月11日の鳥栖市の教育の日はいろいろ大変だったと思いますけれども、私の方も5校ほど、まわりましたが、非常にお客さんも多くて、みんな沢山、見てあると。様々な工夫がされて、本当に教育の日の取組みも定着してきたなと思っております。

それでは、経過報告からお願いいたします。

●江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございます。5月、6月は、非常に多くの行事がこういう形で入ってきております。ご質問等がありましたらお願いいたします。

次にいきます。議事録承認について。議事録承認につきましては、資料の3ページから7ページにまとめていただいております。何かありましたら、事務局の方をお願いしたいと思っております。

それでは議事に移ります。議案第10号、鳥栖市育英資金貸付基金奨学生の選考についてを議題といたします。この議案につきましては、個人に関する情報が含まれていますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項の規定に基づき、非公開とし、後ほど審議することを提案いたしますが、如何でしょうか。賛成いただける方は挙手をお願いします。

(全委員より挙手あり)

3分の2以上の賛成をいただきましたので、この議案については、後ほど非公開で審議をいたします。

それでは、議案第11号、鳥栖市社会教育委員の委嘱について、事務局より説明をお願いします。

●佐藤生涯学習課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございます。社会教育委員の委嘱についてということでございますけれども、新しい方が3名ということになりますが、何か、ご質問、ご意見等ありましたらお願いします。いいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは、承認いただくということでございます。

次に協議報告事項に移ります。平成28年度鳥栖市教育委員会事務局の点検評価報告書(自己評価案)について、事務局の方よりお願いします。

●江壽教育総務課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございました。点検評価の報告ということで、概要、流れ、内容的なものも含めて、詳しく説明していただきましたが、委員の皆様から、ご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

私の方から一つだけ。13 ページの学力向上の中の2つ目のところの三角マークの「学校や教科によってデジタル教科書使用状況に差がある」というようなことをあげてもらっていますが、これは、デジタル教科書や電子黒板を導入しましてですね、デジタル教科書を使えばいいとか、電子黒板を使えばいいということではなくて、それは教育の手段として取り組んでいる訳ですけれども、実際にこういうふうな状況がみられるという。昨年、一昨年ですかね、アンケートを取ったら、非常に子どもたちは、デジタル教科書やら電子黒板について、よく分かり易いという意見がでています。こういうことも含めて、この辺のところを如何に、どこの学校でも、どの先生方でも使えるように、研修も含めてやっていかなければいけないのではないかなという気もしていますけれども。それについて、状況も含めてお願いします。

●平川学校教育課長

デジタル教科書は、子どもたちに視覚的な面で、非常に集中力も高まりますし、それから子どもたちも意欲をもって取り組んでいるというのは、ある程度、アンケート結果からも出ているところでございます。ただ、ハード面ですね、設備関係で、そういうところで、少し使いにくさも現場の方から聞こえてきますので、その辺については、情報政策課とも協議をしながら改善に取り組んでいきたいと思っております。情報政策課の方にも、学校のニーズはきちんと継続して説明しておりますし、理解いただいているところです。若い先生方、それから他の市町で経験された方は、その有効性、活用の仕方に非常に長けたものを持ってある先生も増えております。子どもたちも操作をできるようになってきておりますので、そういった課題を克服しながら、より子どもたちの学力向上に努めていけるように、学校教育課としてもバックアップをしていきたいというふうに思っております。以上です。

●天野教育長

今回は、鳥栖市教育の日で授業参観をして、昨年よりは中学校あたりが電子黒板を使っているのが増えたのかなというふうには。私は学校現場にいた時も、学校訪問がある、日曜参観がある、参観日がある、こういう時に使わないとなかなか使わないので、「こういう時に使えよ」みたいな指導をしたこともあるのですが、そういうことで、課長の話が出たので、来年は確かに、もう少し効果的に使えるようにしていきたいと思えます。

●副田教育委員

豊かな心のところで、13 ページです。ここの不登校の子どもというのは、今、大体、何人くらいいるのか。或いは、その右の方に書いてあります、「不登校支援会議の開催を学校に働きかけ、不登校者の半減につながった学校もある」というのは、具体的にどこの学校なのか。その2点をお聞かせいただきたいと思えます。

●中島学校教育課参事兼教育相談係長兼指導主事

不登校児童生徒の推移について、ご説明をさせていただきます。3 年間について、30 日以上欠席の児童生徒になりますが、平成 26 年度が、小学校が 13 人。出現率としましては 0.26。それから中学校が 59 名。出現率が 2.8。それから平成 27 年度が、小学校が 16 名で 0.32。中学校が 57 名で 2.74。昨年度が、小学校が 17 名で 0.34。

中学校が 63 名で 2.92 となっております。一昨年に比べて若干減ってきたという学校についてあげますと、例えば、中学校では鳥栖西中学校辺り。あと、鳥栖北小学校あたりも若干、減っております。不登校の児童生徒につきましては、適宜、学校のほうでケース会議を、個に応じたケース会議を実施しておりますし、回数も非常に増えてきております。特にスクールカウンセラーの先生や外部の関係機関を繋ぐという意味合いで、スクールソーシャルワーカーの先生方にも入っていただき、連携を図りながら対応に努めていくところでございます。

●副田教育委員

ありがとうございました。

●古澤教育委員

今の関連で。これは、報告があるたびに、私もお尋ねしたことがありました。基本的にはこういった重要な記録、沢山あるのですけれども、教育委員として頭の中に入れておくべき話だろうと思っています。できたら、年次経過、主な対策、それとどういう効果が現れているのかをワンペーパーでいただいとくと、常に持っていて、今、こうなのだというのなら、分かり易いかなというのが 1 点。それと、基本的には、毎年のことだと思えるのですけれども、公表を市のホームページを活用してされているのですよ。平成 29 年 9 月の市議会定例会で基本的にこのご報告を紙ベースでなさる訳ですよ。併せて同じようにホームページで、昨年も同じように昨年の経過をされていると思うのですけれども、アクセスがどの程度あってということ、例えば市民の関心度、これがいくらか分かるようであれば、教えてください。

●江崎教育総務課長

申し訳ございませんが、この報告書に対する直接のアクセス数というのは調べておりませんので、現段階ではちょっと分かりかねます。申し訳ございません

●天野教育長

ホームページに載せるということは、勿論、やっつけていただいていることですが、なるべく速やかに出すということで。古澤委員さん、いいですか。

●古澤教育委員

はい。

●天野教育長

他にいいでしょうか。

●戸田委員

社会教育分野の図書館の話で、基山町の図書館が出来たから利用者数が減少したという話なのですけれども。いや、問題は別に無いと思うのですよね。正に共同利用をするという政策をとっていますので、新しく出来た、そちらの方が近い弥生が丘地区の利用者が減少したという話なので。それとは別に図書館機能の充実を図るのだという観点から、鳥栖の図書館の利用者数だとか、利用のされ方の現状というのは、どう評価しておられるのか。要は、他市だとか、同じ人口規模の図書館と比べて、使われているのか、使われていないのか、その辺の評価みたいなところを少し教えていただければと思います。

●栗山生涯学習課図書係長

市立図書館の状況といたしましては、市民の人口に対する貸し出しの冊数は、佐賀県内で一番、率が高いという状況でございます。利用者につきましても、平成 27 年度に比べては減少してはおりますが、平成 28 年度の秋口くらいからは、若干、元に戻っているような状況でございます。お客様の声を聞いてみると、新しく出来た

図書館だからということで基山に足を運ばれても、蔵書とか、鳥栖の方が充実しているから、やはり、また鳥栖に戻ってきたということも伺っております。ただ、お客様のご意見としては、基山に負けないように、今後とも、もうちょっと力を入れていただきたいということをおっしゃっております。簡単ですが以上でございます。

●副田委員

すみません、今の続きになりますが、子どもの読書推進計画の策定というところで、一つ、ご提案なのですが、「アニマシオン」という技法をご存知でしょうか。これは、ヨーロッパの活字離れ、読書離れをおこしている子どもたちのために、もう随分前から、その技法が確立されてきたものなのです。スペインが発祥と言われておりますが、これが、読み手、それから聞き手、そして物語というものを書いた人、三位一体として、子ども参加型の読書と言いますか、読み語りな訳ですね。そこから、子どもたちの創造性や、それから本に対する興味を引き出しながら読書離れを防ごうという、「アニマシオン」という。この専門書も出ておりますので、まだ、ご覧になったことがなければ、是非、ご一読をいただきまして、ボランティアの方たちともご検討いただきたいと思います。ご提案として申しあげました。

●天野教育長

ありがとうございます。貴重なご意見をどうもありがとうございました。

●古澤委員

図書館の利用者数の増減。それをきちんと把握しておくのも大事なことですけれども、要は、もっと大事なのは利用者。例えば、利用者さんにしても、満足度。利用者が図書館に行って、随分経っているけれども、落ち着いていて、特に職員の方の対応なんか、テキパキとしていて、親切でということで、満足度というのを、大きな要因になるのではないかなと思っていますので。当然、把握してあるとは思いますが、より一層、努められたらどうかというふうに思っています。

●天野教育長

私も全国都市教育長会で生涯学習の分科会に行ったら、図書館教育のことで発表がありましたね。ご存知と思いますが、富山市の有名な物凄い施設で、施設はでかいのですけれども、やっていることは、小学生がイベントを企画したりするとか、中学生がその時たまたま来て色々なことをするとか、高校生も時にはイベントに参加して、図書館の利用について活用計画を行ったとかいうようなことが沢山あったので、そういうのも含めて、新たな見解を含めてやりたいと思います。

他にありませんか。点検報告ということで、香川先生、伊藤先生、両教授、非常に熱心で、今後、鳥栖北小学校と若葉小学校を含めて現場を見てみたいということで、しっかり評価をしていただくということになりますので、また、現場の方、大変になりますけれども、よろしく願いしておきたいというふうに思います。

それでは次に参ります。就学援助受給者へのアンケート結果について、事務局よりお願いします。

●平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございました。委員の皆様からご質問ございましたらお願いします。

そもそも、このアンケートを取ったのは、実は、今度、5月支給に変えたのですけれども、それでも遅いのではないかとということで、良かったら3月支給にして欲しいと、いろいろと貧困家庭であるとか、入学準備金等も含めてですね、非常に金がかかるということで、この辺を見て、3月支給か5月支給というようなことで、3

月支給の方で190と多いのですけれども、このアンケート結果については、しっかり我々も受け止めないといけないというふうに思っております。これを踏まえて、今度は何をどうやっていくのかということも含めて、しっかり教育委員会としても考えなければいけないと思っています。いろいろ制度上であるとか、もし、これを3月支給になれば、12月補正にあげなければならないと。12月補正になった時には、また、委員の皆様方のご意見を聞きながらですね、12月の補正の時にそういうふうな話を含めて、しっかりと取り組んでいただくというふうになると思います。

はい、どうぞ。

●戸田委員

仮に3月支給を考えた場合に、技術的な問題として、更に周知が難しくなったりしないのかなと思うのですよ。要は、小学校が始まってからプリントで配布するということが出来なくなってしまうと。これ、いざすると、4月から転居してきてという方もおられるかもしれませんので、その辺、どういう方法が有り得るのかを考えた上で検討しなければいけないのかなと思います。これからの話ですので。

●平川学校教育課長

現在は3月に申請書を配布しています。これが3月支給となると、1月には申請書を配布する必要があります。そのことは十分に承知していますので、そうするのであれば、計画的にホームページや学校便りで制度の変更について周知をしていく必要があります。

●天野教育長

こういうことで、アンケートが出たということ、我々もしっかりと受け止めて、今後、対応していきたいというふうに思っております。

では、次に移ります。鳥栖市通学区域審議会について、よろしくをお願いします。

●平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

どうもありがとうございます。現在のところは、この辺くらいまでのところというふうになっていると思います。古澤委員さんにも入っていただいておりますし、ご意見等がございましたらお願いします。

●古澤委員

前回も私、この席におきまして、1月の通学区域審議会の開催から時間が経過しているの、早々に各委員にも状況を知らせるべきではないかという話をしておりまして。これまで数か月間は、状況を見守りながら、まとめられていたと理解しておりますが、大事な点がいろいろあるようですので早急に開かれた方がいいかと思っております。年度が替わりますと、区長さんなど地区の代表の委員さんも交代されることがあります。昨年度もそうでしたが、意見をあまり言われぬ委員さんの後にドンと言われる委員さんになられて、今までは総意としておさえていたつもりなことでも覆ることがありました。そういう懸念もありますので、早急をお願いします。

●天野教育長

ありがとうございました。貴重なご意見をいただきました。今のご意見を受けまして、審議会を実施するという形で持っていきたいというふうに。非常に難しい問題も課題も抱えていますけれどもね。しっかり、市長部局の方とも情報共有をしながら、一つ一つ丁寧にやっていかなければならないというふうに思っています。古澤委員さん、いいですね。

それでは、一応、協議報告事項につきましては、準備した分については終わります。

して、今後の予定ということでお願ひします。

●江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ということで、7月12日が臨時議会というようなことがありまして、また、早朝からということで、ご迷惑おかけしますが、よろしくお願ひします。6月29日、学校訪問、古澤委員さんとなっておりますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、公開による会議を終了します。次に議案第10号、鳥栖市育英資金貸付基金奨学生の選考について、非公開で審議をいたします。鳥栖市教育委員会会議傍聴人取締規則第6条の規定により、傍聴者は退席をお願ひします。関係しない事務局職員も退出してください。

(傍聴者及び関係しない事務局職員は退出)

(非公開の議事開始)

以下の議事については非公開

議案第10号 鳥栖市育英資金貸付基金奨学生の選考について

(非公開の議事終了)

(審議の結果、奨学生を採択)

●天野教育長

これもちまして、教育委員会の6月定例会を終わります。皆さん、どうもありがとうございました。

教育長署名